

会議要録

会 議 名	第3回小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託 事業候補者選考委員会
開催日時	令和2年10月20日(火曜日)午後 3 時 30 分から5時30分まで
開催場所	港区立教育センター 研修室3
委 員	(出席者)福井正仁委員、小林千春委員、松浦正和委員 湯川康生委員、篠崎玲子委員
事務局	守屋友紀(指導主事)、増岡文也(指導支援係)
傍聴者	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 資料説明 3 二次審査 <ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーション ・ 質疑応答 ・ 採点 4 採点結果集計 5 審査講評 6 事業候補者の決定 7 その他 8 閉会
配付資料	<p>[席上配付]</p> <p>資料 No.1 第 2 回小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託事業候補者選考委員会議事要録</p> <p>資料 No.2 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託二次審査タイムスケジュール</p> <p>資料 No.3 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託一次審査採点表(集計)</p> <p>資料 No.4 小中学生国内イングリッシュ・キャンプ事業業務委託二次審査採点表(2 事業者分)</p>

会議の結果及び主要な発言	
	<p>1 開会</p> <p>2 資料説明</p> <p>3 二次審査</p>
事業者②	<p><応募事業者②のプレゼンテーション></p> <p><応募事業者②の質疑応答></p>
委員Ⅳ 事業者②	<p>ホームステイでの4名一組はどのような組み合わせで考えているか。 児童・生徒の特性等を事前に情報としてもらい、港区教育委員会及び児童生徒が在籍する学校の教諭からヒアリングをしたうえで組み合わせを決定する。</p>
委員Ⅳ 事業者②	<p>ホームステイが4名一組にする理由はなにか。 ホームステイ先が限られていることから4名一組としていることが理由としてあるが、英語を使用する機会を考えると小人数の方が望ましいため、最大4名一組とし、受入可能なホームステイ先があれば2名一組でのホームステイ先も考えている。また、ホームステイ先は派遣する児童生徒の学年に近いお子さんがいる家庭を選定する。</p>
委員Ⅲ 事業者②	<p>提案にあった留学生のグループ担当リーダー及びファシリテーターの役割について詳細をお願いしたい。 グループ担当リーダーについては、参加する児童・生徒に一番近い立場として、コミュニケーションを行うものとする。 ファシリテーターについては、全体を統括する役割とする。</p>
委員Ⅲ 事業者②	<p>ホテルについて二つあげられているが、これは一泊目と二泊目で別々のホテルに泊まるという認識で大丈夫か。 候補として2つあげているだけ、実際に泊まるホテルは一つのみ。それぞれの特徴を教育委員会との協議のうえで決定していきたいと考えている。</p>
委員Ⅲ 事業者②	<p>添乗員・看護師の内訳について教えていただきたい。 小学生に2名、中学生に2名、全体を統括する添乗員として1名の計5名での配置を考えている。 看護師についても小学生2名、中学生2名の配置で考えている。</p>
委員Ⅲ 事業者②	<p>現地の移動についてのバスは何台で想定しているか。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、換気に優れているバスを小中学生2台ずつで考えている。</p>
委員Ⅰ 事業者②	<p>留学生との関わりの観点で、Lbe Japanとの連携でよかった点があるか。 東京、福岡といった主要都市に住んでいる留学生が多いことから、小学生、中学生の修学旅行の際に協力してもらい大いに助かっている。また留学生同士のネットワークも既に培っていることから意思疎通がしやすい</p>

	<p>い点において非常に助かっている。</p> <p>留学生が在籍する大学は多様ですか。</p> <p>多様な大学の留学生から派遣する予定。</p> <p>委員 I 事業② 委員 I 事業② 委員 V 事業②</p> <p>事前研修に参加する留学生と同じ留学生が実際に派遣されるのか。</p> <p>事前研修と同じ留学生を派遣する。</p> <p>見学学習について、どのように英語を活用していくのか。</p> <p>事前研修の段階で見学先についてのことを学び、実際に現地を見た上で感じたこと、また事前学習で思ったこととの違いについて留学生と英語でコミュニケーションを図ることで海外派遣と同じような経験ができるかと考えている。</p> <p>委員 V 事業②</p> <p>留学生の大学が多様だと、児童生徒の問いかけにしっかりと答えられるだけのスキルが全留学生にあるかが心配だが大丈夫か。</p> <p>Lbe Japan のプログラムに参加経験のある留学生のみを選定し、参加する児童・生徒とのコミュニケーションを図るよう事前に指導したうえで派遣するので大丈夫。</p> <p>委員 II 事業②</p> <p>提案の中である E ナビを利用するにあたるスマートフォンは貸与されるという認識で大丈夫か。また、貸与される時期はいつになるのか</p> <p>事前研修の段階から一人一台貸与する。また、児童生徒のみならず、引率教諭にも現地では貸与する。</p> <p>委員 II 事業② 委員 II</p> <p>留学生の参加人数は何名での予定か</p> <p>仕様書記載のとおり 40 名を派遣する。</p> <p>募集要項にて事業規模額を提示しているが、事業候補者として決定した後、予算規模について協議してもらいたいことも想定いただきたいが大丈夫か。</p> <p>事業② 委員 V 事業②</p> <p>協議のうえで要望に沿った内容で契約を結びたいと考えている。</p> <p>ホームステイ先を選定するうえで、参加児童生徒と同姓の家庭にホームステイできるという認識で大丈夫か。</p> <p>参加児童生徒と同姓の家庭にホームステイ先を選定する。</p>
	<p><事業②退出></p> <p><応募事業④のプレゼンテーション></p> <p><応募事業④の質疑応答></p> <p>委員 IV 事業④ 委員 IV 事業④</p> <p>立命館アジア太平洋大学の留学生について、第二外国語として英語を学ぶ先輩の立場で派遣するとあるが、具体的には、どのような国籍の留学生が派遣されるのか。</p> <p>アジア出身の大学生を中心として派遣する。</p> <p>派遣される留学生の英語のスキルはもちろんのこと、国内在学の留学生ということで日本語も話せる留学生が来るといふことか。</p> <p>認識のとおり、英語に関しては問題ないスキルを要している学生を派遣し、また、緊急時対応の際には日本語が必要な場面も出てくるため、最低限の日本語スキルは身に着けている学生を派遣する。</p>

委員Ⅳ 事業者④	ホームステイ先には一家庭に何名のホームステイで想定しているか。 一家庭につき、3～4名のホームステイを予定している。
委員Ⅳ 事業者④	ホームステイ先には同年代のお子さんがある家庭で選定するのか。 一日しかないホームステイで有意義な経験となるためには、同年代のお子さんがある家庭とのマッチングは最優先事項で進める予定。
委員Ⅰ 事業者④	LbE Japan との連携はこれまでにあるか LbE Japan との連携以前からある。今回の選考についてもすぐに連携をとり留学生の選定の話を進めてきた。
委員Ⅰ 事業者④	LbE Japan と連携立命館アジア太平洋大学との関わりはどのように進めるのか。 今回の選考にあたり、LbE Japan と連携をとる前に、立命館アジア太平洋大学と組みたいと考えたため、協議を行った。LbE Japan だけに留学生選定を頼るのみではなく、立命館アジア太平洋大学にもアプローチしていくことで本事業に臨んでいきたい。
委員Ⅰ 事業者④	事前研修に参加する留学生と同じ留学生が実際に派遣されるのか。 同じ留学生が参加する予定。
委員Ⅲ 事業者④	現地の移動手段のバスは何台を想定しているのか。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から小中学生 2 台ずつを考えている。
委員Ⅲ 事業者④	添乗員もバスに同乗するのか。 業務責任者の添乗員については、バスには乗らず、先に見学先や、ホテルに向かい現地で起こりえる懸案事項について確認をしていく予定。
委員Ⅲ 事業者④	危機管理の観点から看護師は同行する予定はあるか。 現状は想定していないが、今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては協議の上必要があれば同行させたい。
委員Ⅴ 事業者④	立命館アジア太平洋大学からの留学生は日頃から高いレベルの教育を受けている学生なのか。 派遣する留学生については、子どもとコミュニケーションを図り、自分自身の更なるキャリアアップをしたいと考えている向上心のある学生のみ選定する。
委員Ⅴ 事業者④	派遣する留学生は立命館アジア太平洋大学だけであるか。 立命館アジア太平洋大学のみで留学生を派遣する。
委員Ⅱ 事業者④	一つの大学から留学生を 40 名選定するのにどういった調整をしているのか 留学生だけを選定してしまうとバランスがとれなくなることもあるため、LbE Japan との調整の中で留学生の中でチーフの役割を与えることで統率が取れるようにしている。
委員Ⅱ 事業者④	4 日間のスケジュールでホームステイをどの日程に行う予定か。 児童生徒がイングリッシュ・キャンプに慣れてからの方がより有意義なホームステイになると考え、3 日目に実施する予定。
委員Ⅱ	年度末に行うということで児童生徒への配慮、留守にすることで保護者が抱える不安についての配慮が必要以上に大事になっていくと考える

事業者④	が、何か考えはあるか。 イングリッシュ・キャンプでどういう日程で何を経験するのか、また事前学習で何を学ぶのかについて、参加児童生徒のみではなく、保護者も同一の理解を得ることで保護者が抱える不安の解消につながると考え、事前研修からしっかりと対応していきたいと考える。
委員Ⅱ	募集要項にて事業規模額を提示しているが、事業候補者として決定した後、予算規模について協議してもらうことも想定いただきたいが大丈夫か。
事業者④	協議の上で、無駄のない費用の使い方で契約をしていきたいと考える。
委員Ⅰ	提案で海外派遣を超えるような経験を目指すと思ったが、具体的にはどのようなことを検討しているのか。
事業者④	留学生とのコミュニケーションを充実させることが海外派遣では経験できない一番のポイントと考えている。
	<応募事業者④退室>
	4 採点結果集計 (集計結果を事務局説明。事業者②:798点、事業者④866点)
	5 審査講評
委員Ⅲ	実際のプレゼンテーション、質疑応答を終えて、どちらの業者でも本業務を履行できると判断した。安全面での管理体制などにおいては事業者②の方が優れている点もあったが、より子供たちにどんな経験をさせるかという提案について事業者④の方が優れていると判断した。
委員Ⅳ	事業者④の留学生について、第二外国語として英語を学んだ先輩になるアジア国籍の留学生を派遣し、自ら学んだ姿をキャリア形成に繋げるといった点がより良いと思ったが、それ以外については事業者②、事業者④ともに大きな差はないと感じた。
委員Ⅰ	両事業者ともにLbE Japanと連携すること自体、良い提案と思ったが、そのうえで大学とも連携をとる事業者④の提案がより優れていたと判断した。前例のない事業として両事業者ともに充実性のある提案ができていたと感じた。
委員Ⅴ	留学生と見学先でどのように学ぶか、ホームステイ先にて何を学ぶかを評価の重点を置いた。両事業者ともに提案内容は良かったが、あらゆる経験から先回りした提案ができていたのが事業者④であったため評価に差が出た。
委員Ⅱ	海外派遣の代替プログラムとしての意義については、これまでの経験から事業者④の方が優れていると感じた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止における観点での看護師を4名同行させていくことについての安全面の確保、独自システムを活用することによる、児童生徒及び保護者が抱える不安に関する配慮を考えると事業者②の方が総合的に優れていると判断した。

<p>委員 I 各委員</p>	<p>6 事業候補者と次点者の決定 集計結果をもちまして、当委員会として、事業者④を事業候補者として選考してもよろしいでしょうか。 異議なし。</p> <p>7 その他</p> <p>8 閉会</p>
---------------------	---